



前例主義に陥ることなく 加西市ならではの学校のあり方を

加西市教育長
民輪 恵

明けましておめでとうございます。

つつしんで初春のお慶びを申し上げます。旧年中は、世界中に拡散する新型コロナウイルス禍のなか、加西市の教育行政の運営にさまざまなご理解とご協力を賜りありがとうございました。

私は、昨年7月1日に教育長を拝命いたしましたが、市内16の小中特別支援学校は、まさに新型コロナウイルス感染拡大防止対策の渦中にありました。小中学校などの夏季休業を8月の12日間とし、子どもたちの熱中症対策として小学校でスクールバスを運行するなど、教育委員会事務局は前例なき対策に忙殺されたといって過言ではないと思います。各校の校長、教職員たちはもちろん、保護者や地域の皆さま総出のご協力を賜わり、休校で生じた学習の遅れを取り戻すことが出来ました。また10月、11月には市内全小中学校が無事に修学旅行を実施することが出来ました。深く感謝申し上げます。

さて、最先端技術が高度に発展し、人間とロボット・AIが共生する超スマート社会（Society5.0）が現実となり、社会状況は激変しております。昨年、文部科学省は10年ぶりに学習指導要領を改訂しましたが、そこに込められた思いは「これからの社会がどんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれの幸せを実現

してほしい」（文科省HPより）というものです。そこには、10年、20年後の激変した社会に出ていく子どもたちに、何としても「明るい未来を！」という、痛切な祈りが込められているように思います。

20年後には、AIが人間を超えるとされるシンギュラリティがやってきます。人生100年時代にあって、現在の小中学生は、ポスト・シンギュラリティの社会を50年、60年生きなければなりません。教育は、その人生を支える人間力を育成しなければなりません。

またSociety5.0に加えて、少子化、人口減少は加西市のみならず、日本全国で進行しています。明治以来150年以上継続されてきた日本の学校教育を、根底から考え直さなければならない重大な局面、日本型公教育の再検討が必要な時期にきていると痛感しております。

全国の県や市町村でも、今までになかった考え方と手法で、これからのSociety5.0を乗り切っていける子どもたちを育成すべく、新しい試みが始まっております。「過去のモデルは役に立たない」そんな時代を迎え、本年は、これからの教育のあり方を広く真剣に議論しながら検討し、加西市ならではの学校のあり方を見つけてまいりたいと考えております。

また、新南部学校給食センターのオープンを機に、地元加西の食材をより積極的に活用した給食と食育、市内こども園の民営化、生涯学習の拠点となる図書館や公民館の運営など、前例主義に陥ることなく、前向きにベストを追求したいと思います。皆さまの温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。



◀エコスクール活動の様子（西在田小）

新病院建設のながれと 加西病院の役割について

市立加西病院院長
生田 肇



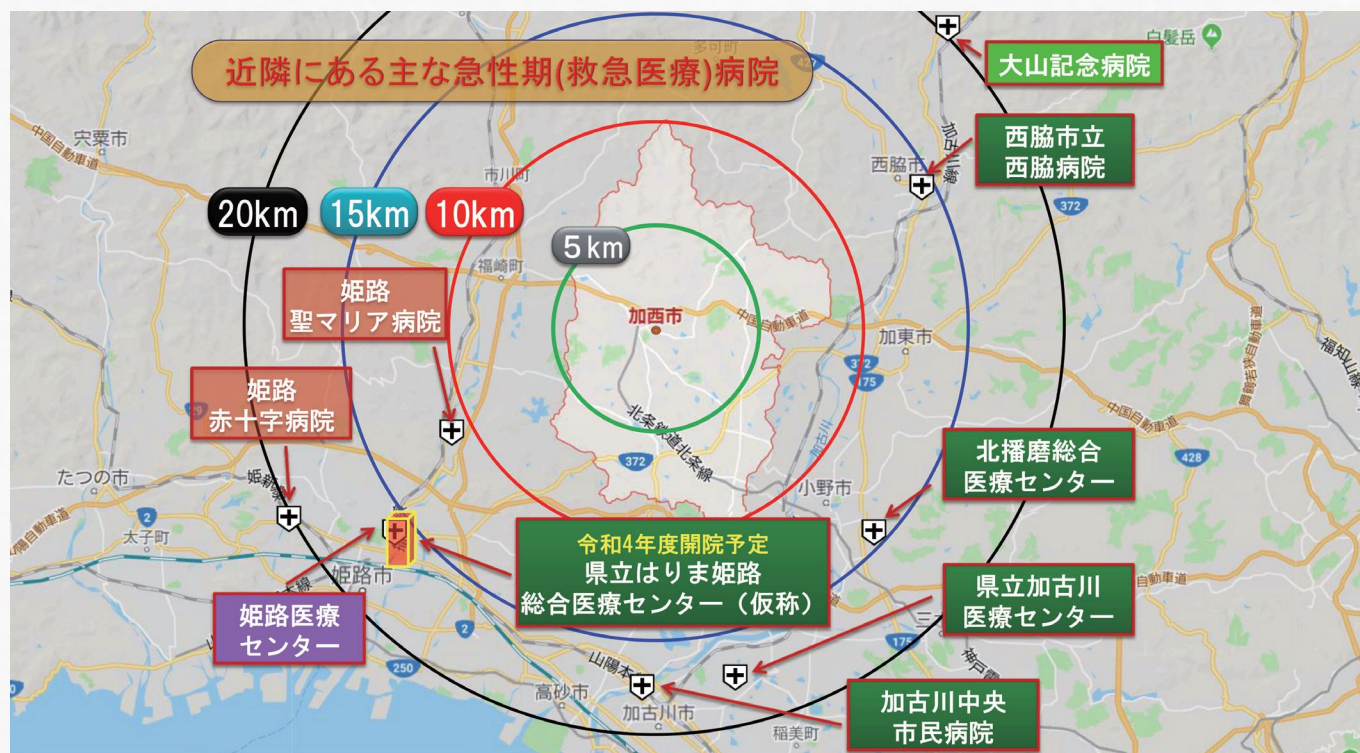
新年あけましておめでとうございます。

昨年4月に院長に就任して以来の初めてのお正月となりますが、市民の方々には引き続き、病院のあり方、改善点について、ご意見をいただきたいと思います。

病院の老朽化に伴う、建て替えの議論が進んでおり、2025年の新病院開設を目指しております。新病院建設の流れですが、市長からの諮問の形である新病院建設基本計画策定委員会の最終回が2020.11.11に開かれ、その内容は市のホームページで公表されていると思います。また、2020.11.8から2021.1.17まで計5回（予定）新しい加西病院を考える市民ワークショップがひらかれており、加西病院を地域多機能型病院（急性期の疾患と急性期後の回復期の疾患の両者を担う病院）として維持する方向性のもと、病院の経営状況および市の財政状況なども勘案しながら、病床機能や規模などについて意見交換されております。

当院が市民病院としての役割を果たす上で、重要なポイントは周辺の基幹病院との連携になります。北播磨総合医療センター、加古川中央市民病院、2年後に開院するはりま姫路総合医療センター（仮称）とはすでに協定が結ばれており、その連携においては診療情報の共有方法なども模索していきたいと思います。

ところで、地理的な位置関係を図に載せましたが、当院は加西市の真ん中に位置しており、周囲には前述した3病院だけではなく、西脇病院、県立加古川医療センターがあり、以上5病院は神戸大学系列の仲間です。また、姫路方面にも基幹病院があります。よって、病院のあり方としては、標準的な急性期医療と周辺の基幹病院から帰ってくる患者にも対応していきたいと思います。



▲周辺の基幹病院